

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA通算1900勝を達成

7月1日(土)の3回中京1日・第5レースではクリノハレルヤが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上10人目、現役では4人目となるJRA通算1900勝(1万1860戦目)を達成しました。

●柴山雄一騎手がJRA通算600勝を達成

7月2日(日)の2回函館2日・第6レースではフェスティヴビームが1着となり、同馬に騎乗した柴山雄一騎手(栗東・フリー)は、史上81人目、現役では34人目となるJRA通算600勝(1万593戦目)を達成しました。

●中山競馬場がメタバース空間に登場

7月15日(土)から30日(日)にかけて行われる世界最大のVRイベント『バーチャルマーケット2023 Summer』に「バーチャル中山競馬場」が登場します。メタバース空間内に精巧に再現されたこの中山競馬場では、キタサンブラックに騎乗してタイムアタックレースに参加したり、競走馬に騎乗してパドックやコースを移動したりといった体験が可能となるほか、人気VTuberのファンミーティング実施も予定されています。またJRAでは7月29日(土)と30日(日)に東京・ベルサール秋葉原にて開催されるリアルイベント『バーチャルマーケット2023リアルinアキバ』にも出展の予定。内容の詳細や参加方法などはバーチャルマーケット公式サイトおよび公式Twitterにてご確認ください。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●レディバグがスパーキングレディーC(川崎)で重賞初制覇

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月5日、川崎、1600^米)は、2番手から直線半ばで先頭に立った4番人気の昨年の2着馬レディバグ(酒井学騎手、牝5歳、父ホッコータルマエ)が、1番人気のスピーディキック(浦和)の追撃をアタマ差凌ぎました。3番人気のタガノクリステルが3着に入り、スタートで滑って後方からの競馬となった2番人気のグランブリッジは4着、エナハツホは6着でした。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが佐賀で開幕

2023ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは7月4日に佐賀で開幕、小沢大仁騎手(栗東)が第1、2戦を連勝しました。

●クイーンC(笠松)はJRA出身のペップセ【各地の主要3歳重賞】

クイーンC(6月22日、笠松、1600^米、牝馬)は、逃げた1番人気の愛知所属馬ペップセ(父ネロ)が、4コーナーで一旦交わされながらもゴール前で差し返し、初の重賞制覇を果たしています。

●ミトノオーが有力、7月12日のジャパンダートダービー(大井)

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、7月12日、大井、2000^米)は、兵庫チャンピオンシップを圧勝したミトノオーが最有力、以下ユティタム、オーロイブラータ、ミックファイア(大井)、テーオーリカード、ゴライコウ、キリンジ、オマツリオトコまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●愛ダービー〜オーギュストロダンが英愛ダービー制覇を達成

現地7月2日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛ダービー(3歳牡・牝、芝2400^米)は、ディーブインパクト産駒の最終世代の1頭であるオーギュストロダン(牡3歳)が、道中3番手追走から直線で逃げ粘るG1英ダービー8着馬アデレードリバーをかわして1馬身半差で優勝。単勝1.36倍の1番人気にのせて、2016年のハーザンド以来、史上19頭目となるG1英ダービーとG1愛ダービーのダブル制覇を果たしました。

クールモアが生産し、所有するオーギュストロダンは母がロッキンジSを含むG1・3勝のロードデンドロン、祖母が愛1000ギニーなどG1・3勝のハーフウェイトゥヘヴン、そして叔母には連覇した愛チャンピオンSなどG1・7勝のマジカルがいるアイルランド産馬。昨年9月のG2ゴールドンフリースS(芝1600^米)で重賞初制覇を果たすと10月のG1フューチュリティトロフィーS(芝1600^米)も連勝してシーズンを終了。今季初戦となった5月のG1英2000ギニーはチャールズ国王の戴冠式による警備強化で急きょ輸送日時の変更を余儀なくされたことや、レース序盤にごちゃついたことなどもあって12着でしたが、続く前走のG1英ダービー(芝2410^米)では素晴らしい末脚を繰り出して優勝していました。鞍上のR.ムーア騎手はこのレース初制覇。今回1〜4着までを独占したA.オブライエン調教師は自身の持つ最多勝記録を塗り替える15勝目です。